

後期高齢者医療広域連合議会議員

日本共産党各務原市議団は

浅野市長を認めず棄権

岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員を議員が選ぶ選挙が行われました。

これまで、岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員である浅野健司市長の任期が満了したため、引き続き浅野市長を指名推薦する選挙が行われました。過去四年間に8回の岐阜県後期高齢者医療広域連合議会が行われましたが、浅野市長は、その内2回欠席し、全く発言はなく、保険料の引き上げにも賛成していることから、日本共産党

5年前に引越し、今回もとに戻す

こんな税金の

ムダ遣いは問題

6月議会補正予算に新庁舎建設に伴う引越し費用が計上されています。

平成23年に、水道、下水道関連の部署が水道施設管理センター（水道事業庁舎4階）だけを残して、産業文化センターと、本庁舎へ移転しました。

水道事業庁舎へは、全く関連のない埋蔵文化財調査センターが中央図書館から移転しました。それに伴い、展示ケースの買いかえなどムダな出費をしました。水道事業庁舎に移転したことで、交通の便が悪く市民が立ち寄りにくいなど問題でした。

上下水道関連についても、本庁と産業文化センターに分散しました。水道事業庁舎がありながら、間借りをし、庁舎使用料を払うというムダを行っています。また作業車などの重機の保管場所と職員が分散してしまい、何もなかったからよかったものの、災害が起きれば緊急時の対応が懸念されていました。

この間、水道事業庁舎の2階・3階は空き室となっていました。

今度は新庁舎建設に伴って左表のように引越しを行います。

埋蔵文化財調査センターが中央図書館へ移転します。それに伴って今まで市民が使っていた、市民ギャラリーや第1・第2創作室、準備室が使えなくなります。市民が絵画教室やその展示など楽しんでいた場所を取り上げてしまいます。

意味のない引越しをし、またもとへ戻すのです。税金をムダにし、市民も犠牲にする、こんな税金の使い方や施策は問題です。

現 在	移 転 先	移 転 時 期
埋蔵文化財調査センター (現在水道事業庁舎)	→ 中央図書館	平成29年10月頃
水道総務課・水道施設課 (現在産業文化センター5階) 下水道課(現在本庁舎2階)	→ 水道事業庁舎	平成30年1月頃
環境政策課 (現在産業文化センター5階)	→ 本庁舎2階	平成30年2月頃
都市建設部(現在本庁舎2階)	→ 産業文化センター 5階・6階	平成30年5月頃
税務課・市民税課・ 資産税課(現在本庁舎1階)	→ 本庁舎2階	平成30年7月頃
市民課・医療保険課 (現在本庁舎1階)	→ 本庁舎1階(税務課・市民 税課 資産税課の後へ)	平成30年9月頃

6月議会の発言

	発言 順位	議員名
質 議	1	ながやてる子
	2	杉山 元則
一 般 質 問	1	川嶋 一生
	2	横山 富士雄
	3	吉岡 健
	4	指宿 真弓
	5	大竹 大輔
	6	古川 明美
	7	岩田 紀正
	8	津田 忠孝
	9	ハタノこうめ
	10	仙石 浅善
	11	五十川 玲子
	12	川瀬 勝秀
	13	黒田 昌弘
	14	塚原 甫
	15	坂澤 博光
	16	杉山 元則
	17	ながやてる子

